

岩手県感染症週報

平成16年第36週（8月30日～9月5日）

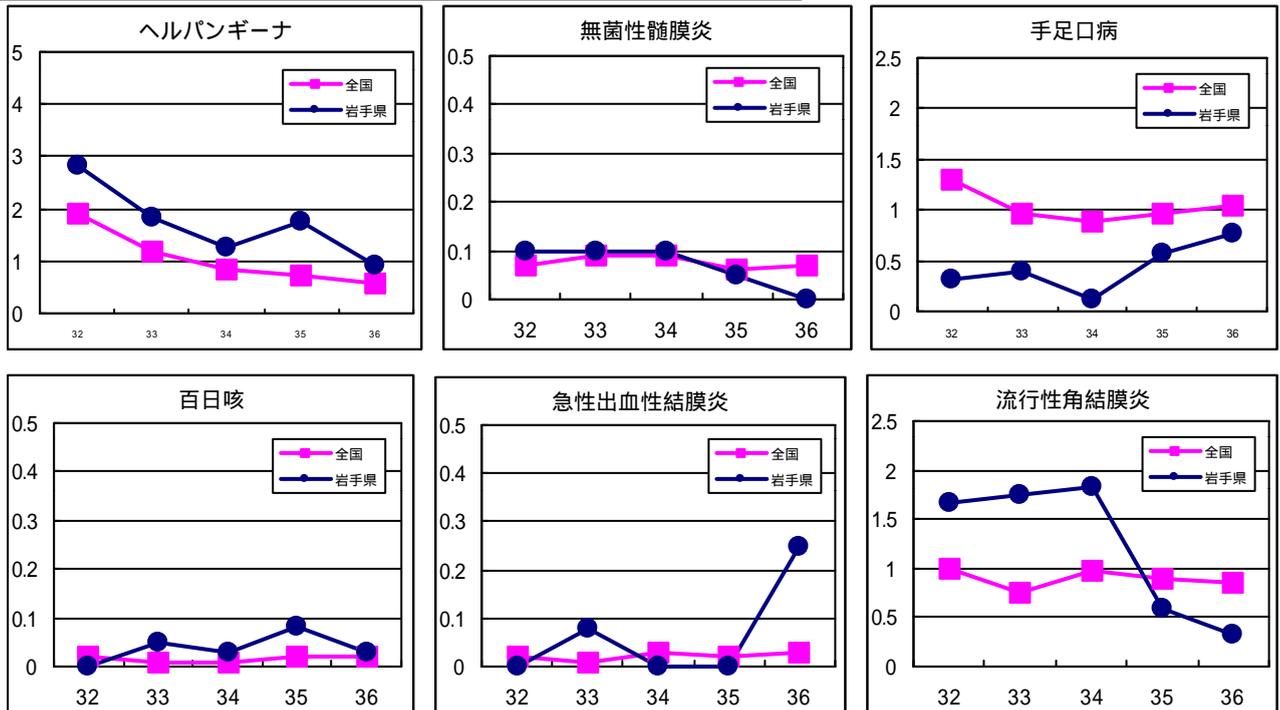
岩手県結核 感染症情報センター

第36週の概要

- 1類感染症 } 患者発生の報告はありませんで
 2類感染症 } した。
 4類感染症 }
- 5類感染症（全数把握対象疾患）
 ・患者発生の報告はありませんでした。
 （前週報告のあった梅毒1例は、報告基準に満たなかったため削除されました。）
- 3類感染症
- ・O157などの腸管出血性大腸菌感染症は、花巻保健所管内の保育所で発生した集団感染例を含む14例^注の患者発生の報告がありました。地区別の患者数は、盛岡地区2例、花巻地区8例、水沢地区3例、一関地区1例です。保育所の集団感染例では、園児3名、女性保育師、園児の祖父の計5名から腸管出血性大腸菌O157が検出されました。感染源は不明ですが、症状はいずれも軽症で快方に向かっています。注）保育所集団感染事例のうち4例は第37週に該当するため、P3の表では第36週の患者発生数は10例である。
- 5類感染症（定点把握対象疾患）
- ・手足口病は、二戸地区で前週から患者数が増加しており、この週には定点当たり患者数が10.0人と警報値（同患者数5.0人）を超えました。
 - ・急性出血性結膜炎は、盛岡地区から2名、一関地区から1名の患者発生の報告がありました。
 - ・百日咳は、宮古地区から1名の患者発生の報告がありました。
 - ・無菌性髄膜炎の報告はこの週にはありませんでした。環境保健研究センターの病原体検査では、同疾患のほかに急性扁桃腺炎や感染性胃腸炎など様々な病態からエコーウイルス6型が検出されています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		32	33	34	35	36		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	1.5	1.05	0.32	0.29	0.16	↘	
	全国	0.8	0.57	0.49	0.42	0.34		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.42	0.21	0.34	0.29	0.3	→	
	全国	0.56	0.43	0.43	0.49	0.52		
感染性胃腸炎	岩手県	1	1.24	1.13	1.21	1.11	→	
	全国	2.49	1.91	2.26	2.37	2.37		
水痘	岩手県	0.71	0.68	0.47	0.18	0.38	→	
	全国	0.57	0.49	0.48	0.47	0.44		
手足口病	岩手県	0.32	0.39	0.11	0.58	0.76	↗	
	全国	1.29	0.97	0.89	0.97	1.05		
伝染性紅斑	岩手県	0.26	0.26	0.24	0.29	0.22	→	
	全国	0.24	0.15	0.15	0.19	0.19		
突発性発疹	岩手県	0.82	0.39	0.76	0.74	0.57	→	
	全国	0.86	0.66	0.75	0.93	0.86		
百日咳	岩手県	0	0.05	0.03	0.08	0.03	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
風疹	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.82	1.84	1.26	1.76	0.92	↘	
	全国	1.89	1.19	0.85	0.74	0.58		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.53	0.39	0.18	0.45	0.14	→	
	全国	1.03	0.77	0.9	0.85	0.72		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.08	0	0	0.25	↗	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.02	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.67	1.75	1.83	0.58	0.33	↘	
	全国	1	0.75	0.98	0.9	0.86		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	43	19					
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.1	0.1	0.1	0.05	0	→	
	全国	0.07	0.09	0.09	0.06	0.07		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.1	0.2	0.15	0.2	→	
	全国	0.18	0.22	0.22	0.22	0.16		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 32	33	34	35	36	累計	36	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	1	5	57	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	25	372	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	46	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	54	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	7	2	6	10	49	130	2691	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	397	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	21	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	31	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	191	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	12	20	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	112	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	41	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	763	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	2	57	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	18	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	98	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	29	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	31	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	2	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	0	8	340	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	61	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	39	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	43	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2		
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	2	95		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

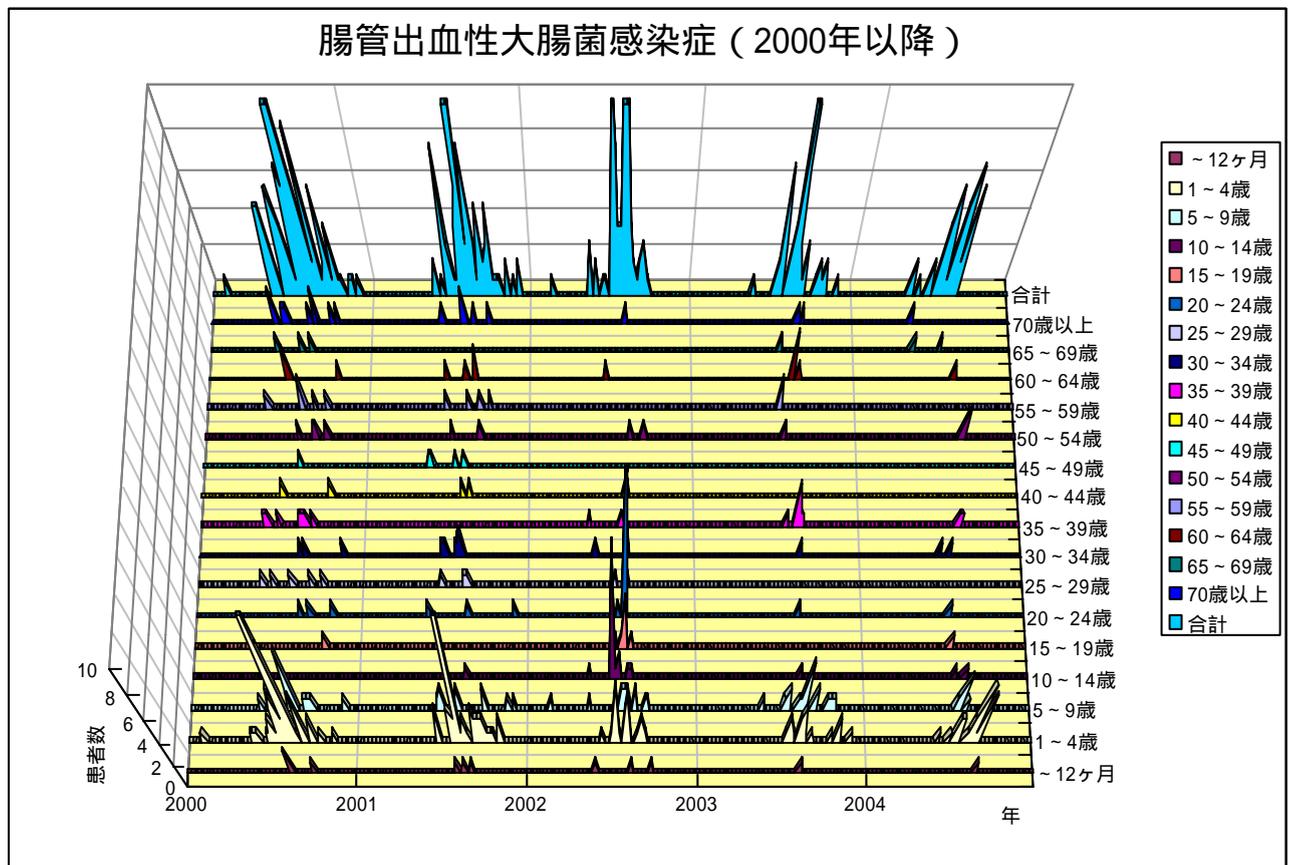
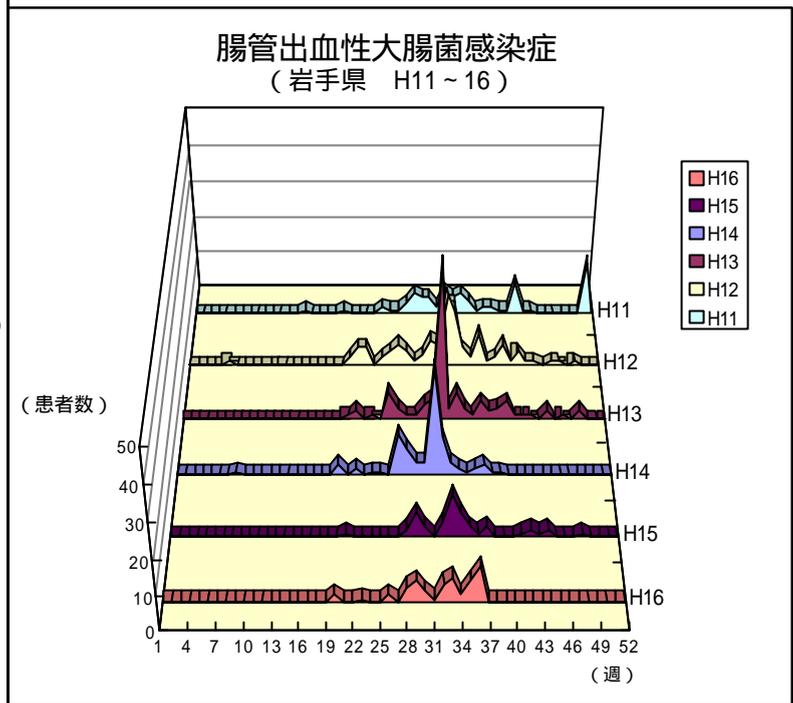
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の発生が県内各地で続いています。県内ではこれまでに昨年同期を上回る53例の患者が確認されています。これから患者数はさらに増えるものと思われるので、厳重な注意が必要です。

本疾患の病原体であるO157などの大腸菌は感染力が強く、初発患者からの二次感染も少なくありません。また、免疫力の比較的弱い乳幼児や高齢者の患者が多くなっています。

感染の予防には、一般的な細菌性食中毒予防の三原則、細菌をつけない、細菌を増やさない、細菌をやっつけることが有効です。また、血便を伴った下痢など、特有な症状が認められたらできるだけ早く医療機関を受診することが大切です。



病原体検出情報

- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からエコーウイルス6型を5例、アデノウイルス3型を1例、コクサッキーB群ウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の咽頭拭い液からエコーウイルス6型を2例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス3型を1例、アデノウイルス37型を1例、単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・咽頭結膜熱の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を1例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便からエコーウイルス6型を3例、アデノウイルス3型を1例分離検出しました。

集団感染情報

集団食中毒事件の発生について

1 事件の経過

9月2日（木）午前11時49分頃、盛岡少年院から盛岡保健所に「腹痛、下痢の食中毒様症状を呈する院生が多数発生している。」との通報がありました。盛岡保健所等の調査の結果、複数の患者便及び給食の残品から病原大腸菌が検出されたこと等から、本事件を8月31日の夕食を原因とする病原大腸菌による食中毒事件と断定しました。

盛岡保健所では、盛岡少年院の給食部門を、9月3日（金）から9月5日（日）までの3日間、食品衛生法に基づき業務停止処分とするとともに、食品の取り扱い等について改善を指示しました。

2 概要

- （1）初発月日 9月1日（水）午後6時00分
- （2）患者数 31名
- （3）主症状 腹痛、下痢
- （4）病因物質 病原大腸菌
- （5）原因食品 少年院の給食（8月31日の夕食）
- （6）原因施設 「盛岡少年院」（集団給食施設）

医療機関からの情報

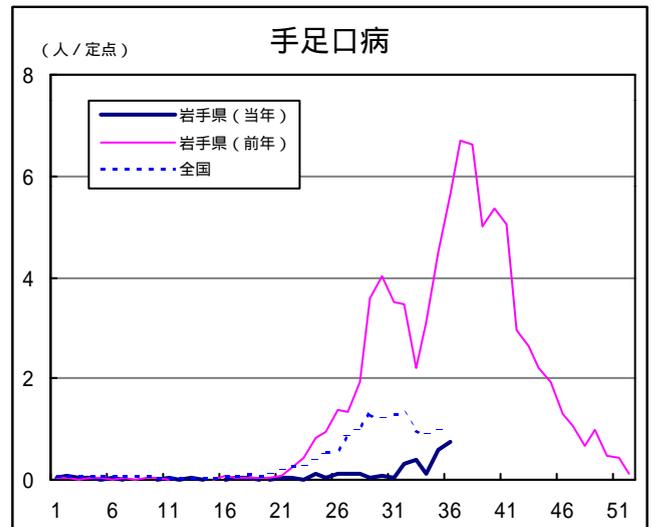
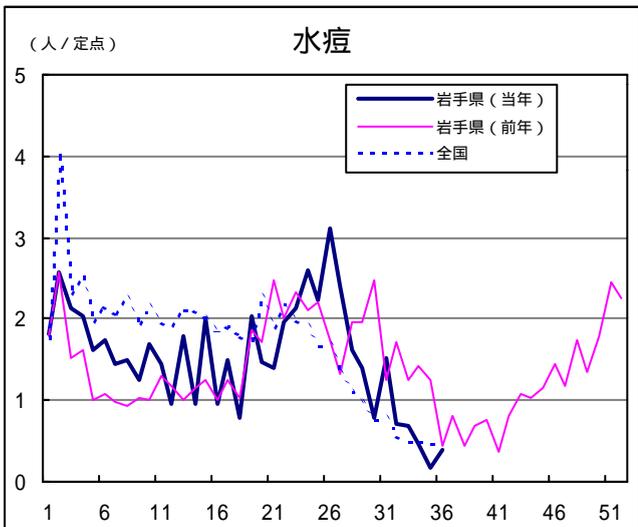
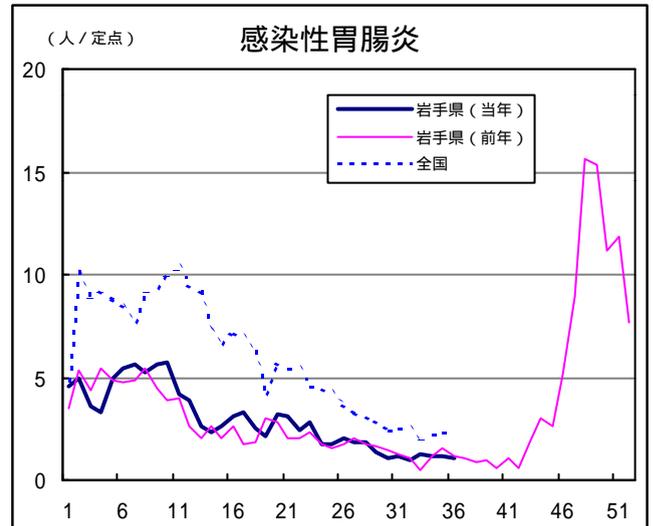
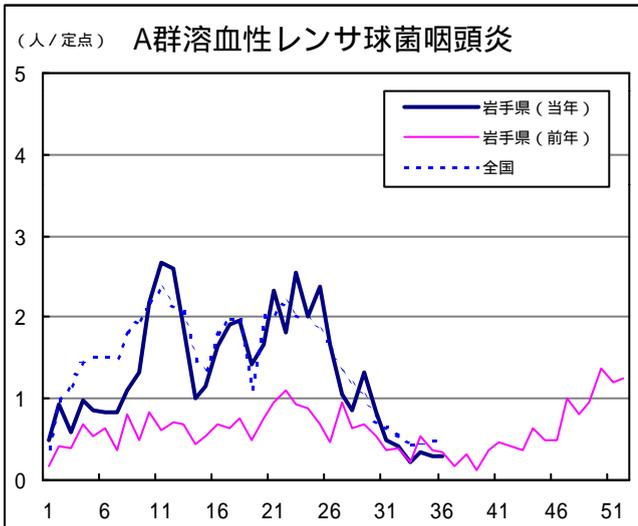
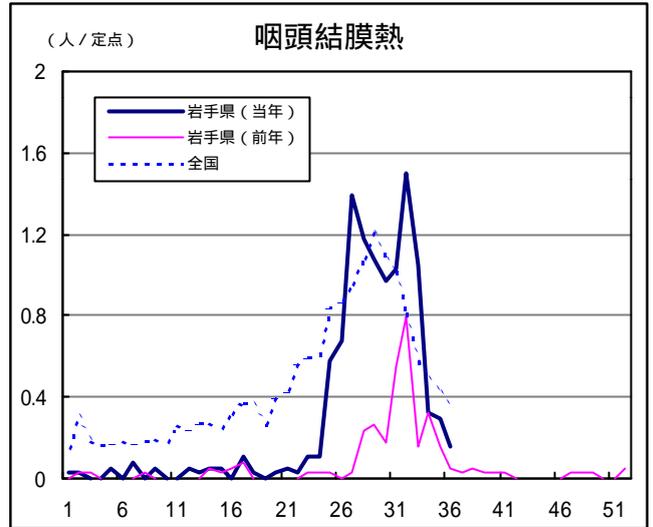
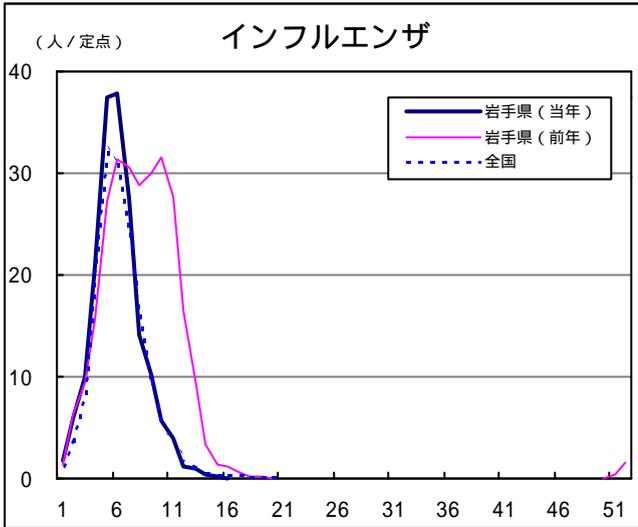
この週には医療機関からの情報はありません。

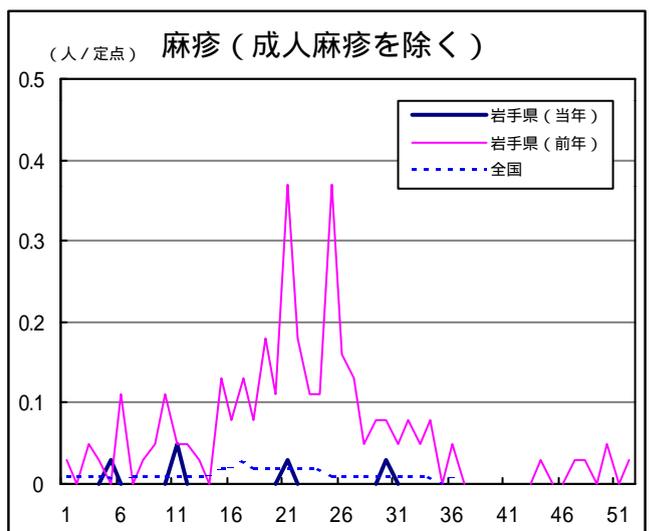
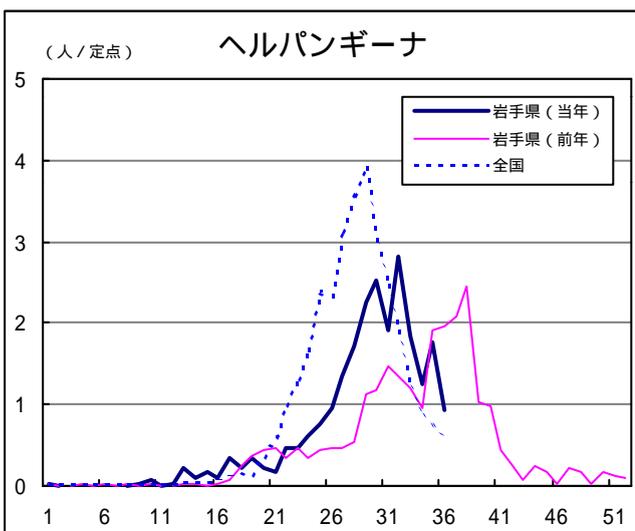
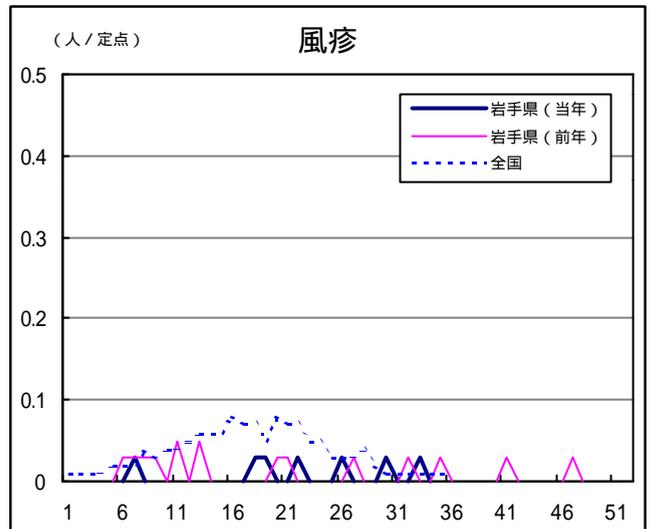
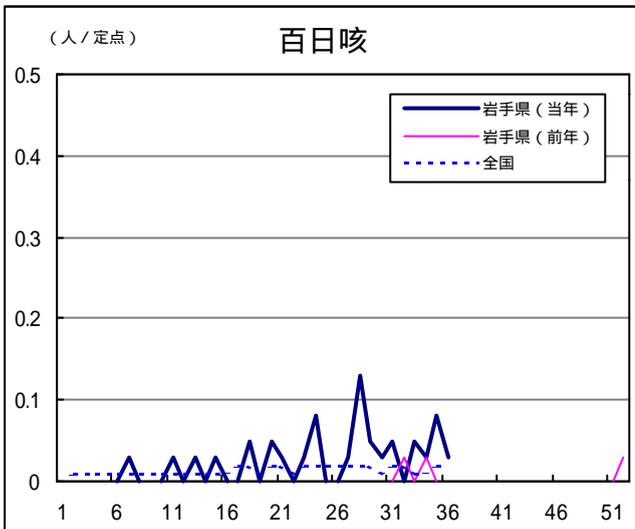
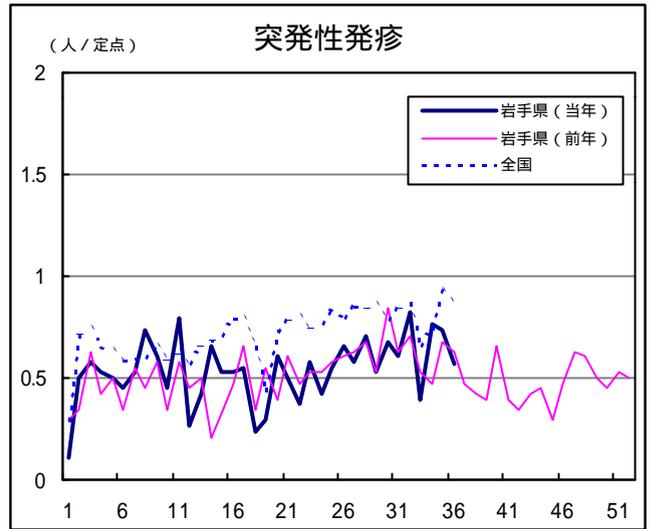
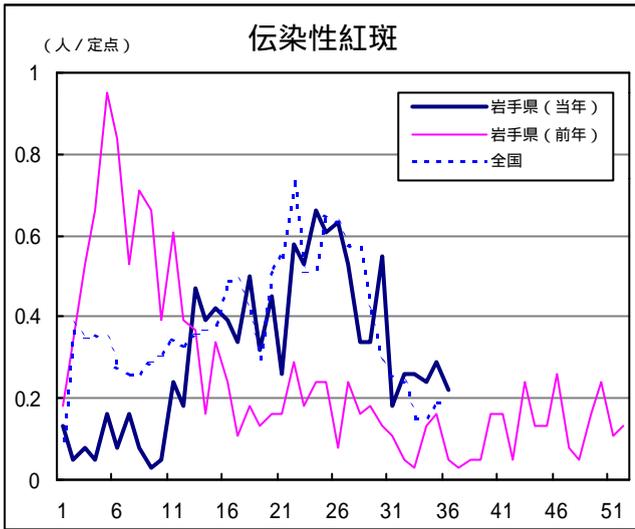
Q & A

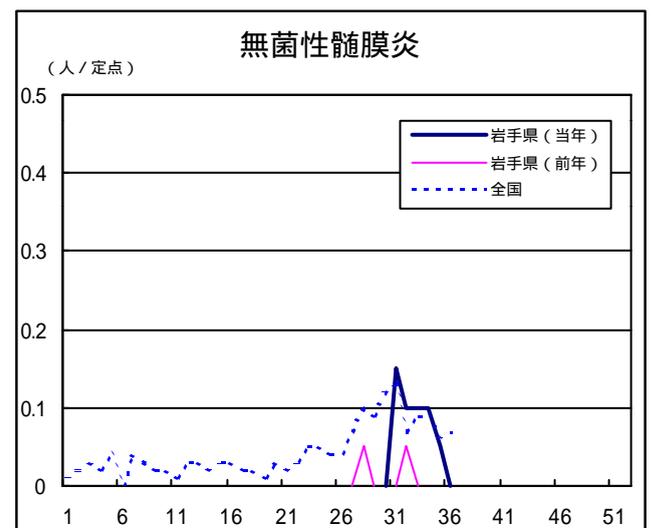
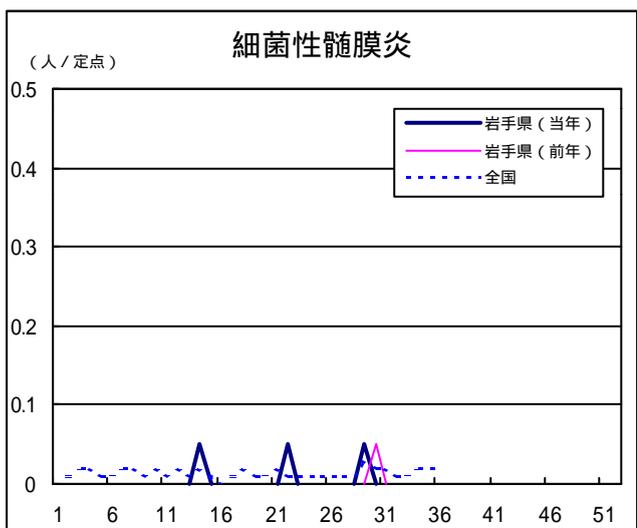
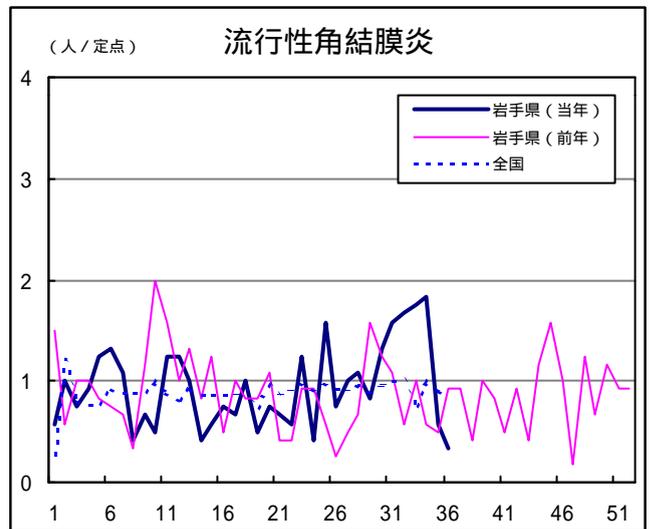
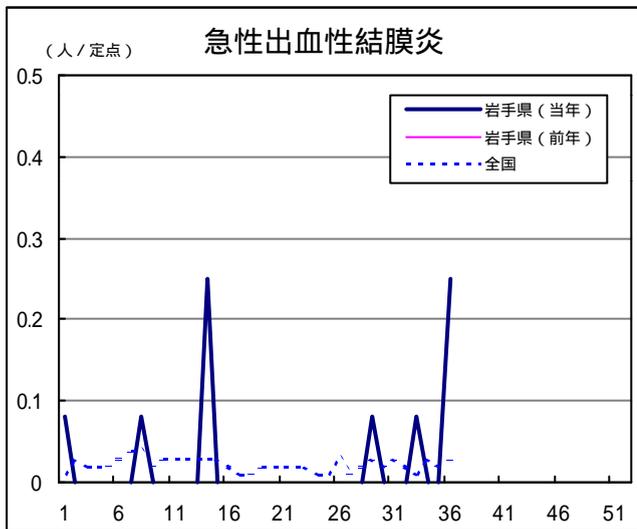
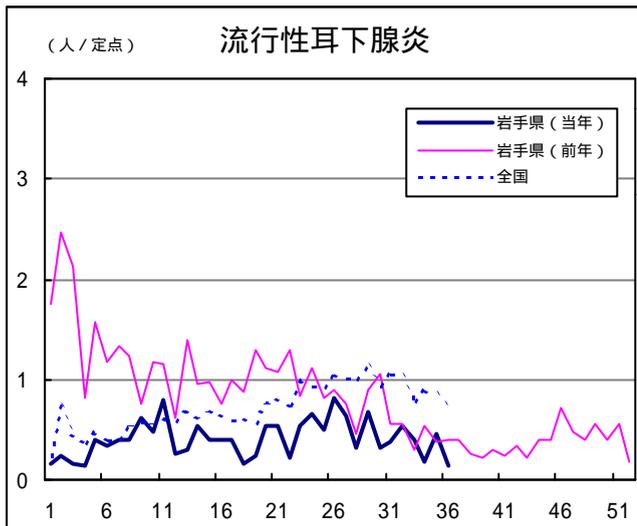
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

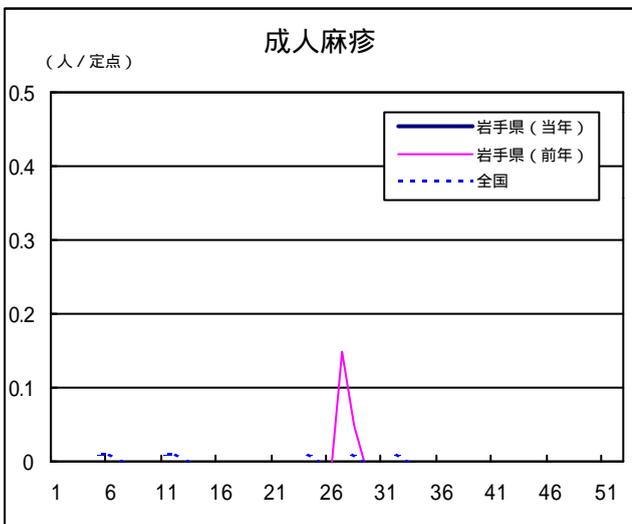
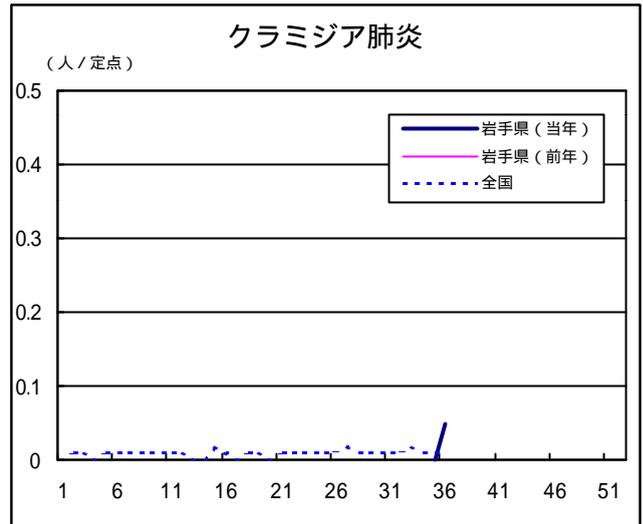
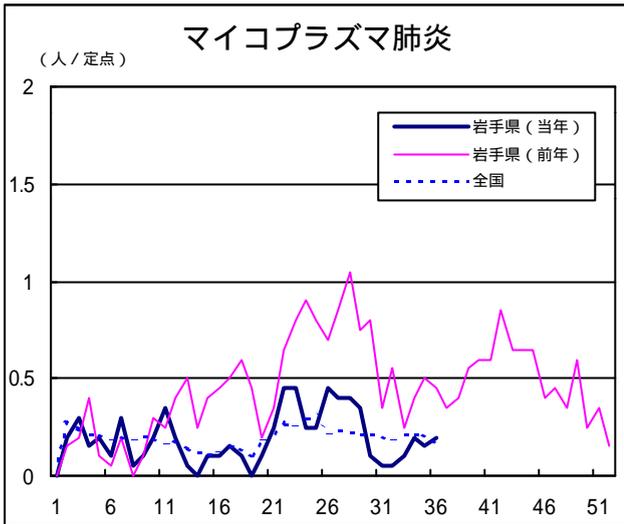
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第36週 平成16年9月10日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>